

平成28年4月7日

上ノ国町議会議長

石澤一明様

氏名 三浦安則



平成27年度政務活動費に係る収支報告について

上ノ国町議会政務活動費の交付に関する条例第8条第1項に基づき、別紙のとおり平成27年度政務活動費収支報告書を提出します。

政務活動報告書

1 政務活動名

増養殖漁業と六次産業化に関する調査研究

2 政務活動内容

(1) 平成27年10月23日

下松市栽培漁業センター

山口県下松市大字笠戸島字細折456-3

(2) 10月24日

萩大島船団丸

山口県萩市樽屋町22-3

3 政務活動成果

(1) 山口県下松市 公益財団法人下松市栽培漁業センター視察研修

10月23日午前9時30分から12時まで久山所長、清水経済部長、松井水産課長の出席を得て下松市の栽培漁業センターの経緯や現況、県や市の漁業の課題と今後の目標などについて研修し、意見交換などをしました。当センターは昭和58年に開設され、次の5事業を行っています。



- ①水産資源の維持拡大のための種苗生産及び中間育成に関する事業
- ②魚介類の生産技術、生産管理の向上及び観光資源としての養殖に関する事業
- ③栽培漁業推進に関する調査研究及び啓発に関する事業
- ④漁業環境保全及び漁業経営安定に関する種苗生産放流事業
- ⑤施設の管理運営に関する事業

施設は、地上に生簀(いけす)を設置し、上屋(うわや)だけの建設費のかからない構造で、少ない投資で最大の効果を目指しています。倍量放流することによって施設の稼働率を高め、コストを下げています。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

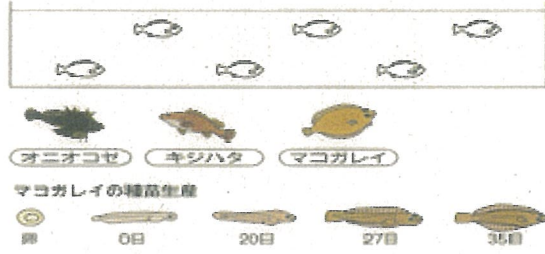
(例～○○調査研究、○○研修、○○広報・広聴、○○会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

当センターではマコガレイ、クルマエビ、カサゴ、オニオコゼ、アワビ、キジハタ、ガザミ、トラフグ、アカガイ、ヒラメの10魚種の種苗生産から中間育成、放流を行っています。また、育成された魚介類の90パーセントが下松市で食されています。

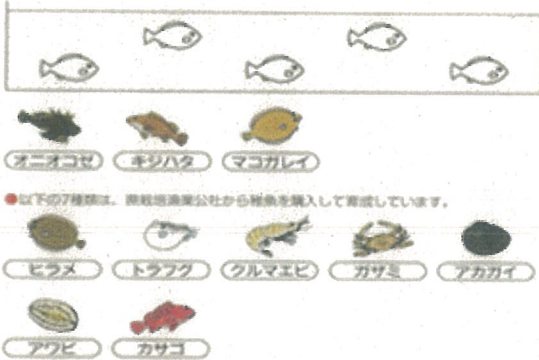
**PROCESS 1 種苗生産**

親から産まれた卵をかえし、プランクトンや人工の餌を与え、育てます。自然の海では死んでしまうことが多い時期に、室内の水槽などで飼育管理します。



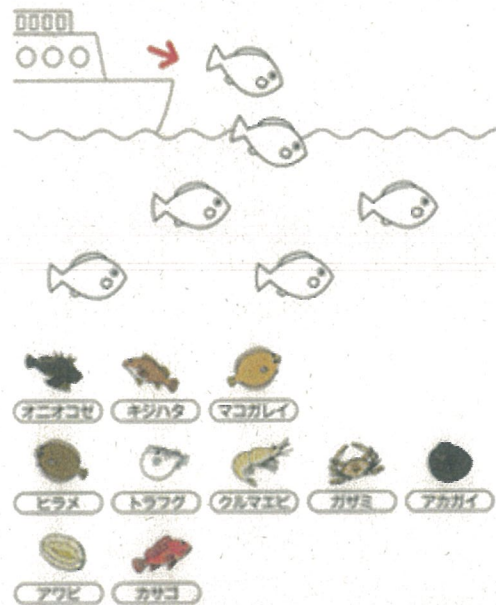
**PROCESS 2 中間育成**

人の手で大切に育てられた種苗は、自分で餌をとる能力や、外敵から襲われても逃げたり隠れたりする能力が不足しているため、ある程度大きくなるまで育てます。



**PROCESS 3 種苗放流**

中間育成で大きくなった種苗は、育ちやすい環境の海に放します。



(2) 山口県萩市船団丸の六次産業化の実体験、視察研修

10月24日漁船で大島に移動、事務所にて萩大島船団丸の長岡船主と松原水産(株)松原氏から講義を受け、意見交換しました。漁獲時間の関係で船上での加工体験はできませんでしたが、昼食をとりながら船団の若者たちと交流して、漁業の課題などについて話し合いをしました。

年々漁獲量が減り、漁業をやめていく若者が多くなっていく中で、いかに収入を確保していくかが課題となっているそうです。



注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。

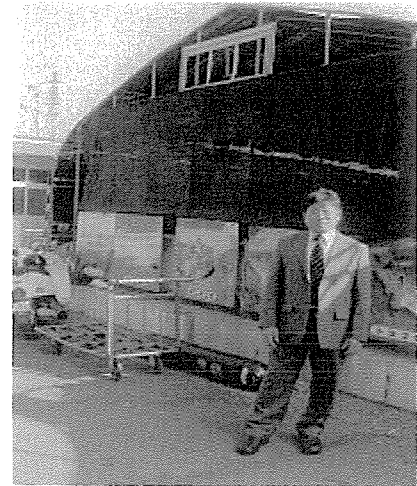
## 別紙 2

おりしもその時に萩市の沖合にある小島（人口700人）で20代の女性が代表となり、3艘（そう）の船団の漁業者が六次産業化に取り組んだとのことです。漁獲した魚を船上で加工、梱包（こんぼう）し、市場を通さずに料理店に直送しており、武器はスマートフォンと全国の料理店150社のリストであるそうです。年々漁獲量が減り、いかに収入を確保するのか考えた結果の方策だとのことです。

### 成果

- (1) 下松市栽培漁業センターは、水産資源を守り育てていくために10の魚種の放流をしており、海域によって漁獲量の差ができるので、ローテーションを組んで、収入が公平になるようにしているとのことです。養殖された魚は90パーセントが下松で食されており、地産地消に貢献しています。また市民の皆さんにセンターに親しんでもらうため、料理教室や放流や漁獲体験などの活動を行っています。特にヒラメは笠戸ヒラメのブランドで市場においても評価が高いとのことです。

本町の栽培漁業センターの効率的な運用を期待したいと思います。



- (2) 萩大島船団丸は、漁獲量が減っていく中で、鮮度の良い魚介が料理店へ直送されることにより、魚種によっては2倍以上の価格で取引されており、漁業者の経営安定に寄与しています。新規に就業する若者も出てきており、漁業に誇りをもって就業しており頼もしく感じました。しかし、地域においては、今までと違う感覚で漁業をすることの違和感をもつ漁業者も多く、精神的な苦勞もあり、その払拭に期待したいと思います。仲買人や漁業協同組合においてもかなり理解は進んでいるものの、まだまだ足りないとのことです。

本町漁業においても、漁獲量が減少し漁家経営が不安定であり、特にヒラメの豊漁の時の販売方法を一考してはどうかと思われます。

注) 1 政務活動名には、実施した活動名を記載する。

(例～〇〇調査研究、〇〇研修、〇〇広報・広聴、〇〇会議など)

2 政務活動内容及び政務活動成果には、具体的な内容とその成果を記載する。